

第19期

事業報告

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

青い森鉄道株式会社

# 第 19 期事業報告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

## 1. 会社の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

我が国の経済は、政府の経済政策「アベノミクス」の効果などに伴い、緩やかな景気回復の動きが続いていましたが、10月以降、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や相次ぐ自然災害の発生などに加えて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、厳しい状況となっています。

本県においても、地域経済や県民生活への影響が広がってきており、このような状況が長引くことにより、更に影響が深刻化していくことが懸念されるどころです。

こうした中、当社では、以下の4つの重点項目を柱として、安全で安定した旅客輸送を第一に、利便性を確保しつつ効率的な経営や沿線地域の振興等に取り組みました。

まず、安全・安定輸送の確保については、開業以来続く当社の責任による鉄道運転事故「ゼロ」を継続しました。また、10月の台風19号では計画運休を実施しました。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みとして、社員の健康管理についての注意喚起や感染防止対策の実施とともに、国の要請を受けて駅構内等における放送案内で感染防止策について周知を図りました。

二つ目の中期経営計画に基づく収支改善等については、旅客運輸収入の増収に向けて、当社独自の企画乗車券の宣伝・販売活動に力を入れるとともに、自動券売機の更新に合わせて、一部の企画乗車券について自動券売機での購入を可能とするなど利便性の向上に努めました。

また、7月には、台湾の在来線を運営する台湾鐵路管理局との間で、相互交流拡大に向けた姉妹鉄道協定を締結し、インバウンド利用の促進に取り組み、上期は前年を上回る実績となりました。

しかしながら、下期に入り10月の台風19号、消費税率引き上げ、さらには年明けの新型コロナウイルス感染症防止対策による小中高校等の臨時休校やスポーツ・文化イベントの自粛等が大きく影響し、旅客運輸収入は当初計画から大幅な減収となりました。

三つ目の沿線地域等との連携強化による利活用促進については、沿線で開催される夏祭りや各種イベントについて沿線自治体と連携した情報発信や当社線利用のPR等を行ったほか、10月からは、三戸町の御協力により「11ぴきのねこ」全面ラッピングトレインが運行されるなど、鉄道事業を通じて沿線の地域振興に取り組みました。

また、三沢市の「三沢駅前交流プラザみーくる」や西口交通ターミナルの完成、青森駅東西自由通路建設工事など、将来のまちづくりにつながる駅周辺の整備等が進められました。

四つ目の人材確保と人材育成の取組みについては、当社の将来を支えるプロパー社員の人材確保のため企業説明会等への参加やインターンシップを開催したほか、社員の資質、スキル向上のため外部講師による研修や各種訓練等を実施しました。

これらの取組みに加えて、お客様から信頼され愛される鉄道を目指して様々な取組みを進めました。

その結果、当期の営業収益は5,547,349千円、営業費は5,505,743千円となり、営業利益は41,606千円となっております。これに営業外損益等を計上した後の当期純利益は当初計画15,556千円を11,889千円下回る3,667千円の黒字となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による減収等があったことから、3事業年度ぶりに営業費において、第三種鉄道事業者である青森県から線路使用料の減免措置（27,826千円）を受けております。

## ② 設備投資の状況

当事業年度に実施した設備投資の総額は139,267千円であり、その主な内容は次のとおりです。

- ・自動券売機16台更新 86,400千円
- ・703系床修繕及び側引戸雪害対策工事 28,000千円
- ・レーザー式ホーム限界測定装置（リース資産） 6,036千円
- ・駅務機器システム西暦化 6,000千円

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	平成28年度 (第16期)	平成29年度 (第17期)	平成30年度 (第18期)	令和元年度 (第19期)
営業収益	6,282,637千円	6,171,869千円	5,858,290千円	5,547,349千円
経常利益	36,433千円	124,832千円	130,590千円	29,927千円
当期純利益	3,142千円	65,404千円	68,776千円	3,667千円
1株当たり当期 純利益	54円 18銭	1,127円 66銭	1,185円 81銭	63円 23銭
総資産	4,941,128千円	5,266,257千円	5,136,986千円	5,316,799千円
純資産	2,600,331千円	2,665,735千円	2,734,512千円	2,738,179千円
1株当たり純資 産額	44千円	45千円	47千円	47千円

(3) 主要な事業内容

当期の当社の事業は、旅客鉄道事業及び附帯事業です。

① 旅客鉄道事業

旅客鉄道事業の営業キロは、目時・青森間121.9km、駅数は27駅です。  
車両は701系電車を18両（9ユニット）及び703系電車2両（1ユニット）を保有し、また703系電車2両（1ユニット）をリースしています。

青い森鉄道の列車は、1日95本、うち快速列車10本を運行し（注）、IGRいわて銀河鉄道（盛岡駅～目時駅間を経営）や、JR大湊線との直通運転も行っております。

（注）令和2年3月14日ダイヤ改正後の運行本数

② 附帯事業

附帯事業として、鉄道施設を所有する青森県から指定管理者の指定を受け、線路等、鉄道施設の保守管理を行うとともに、駅構内の利活用スペースの使用許可等業務を行っているほか、旅行業及び物販事業を行っています。

(4) 主要な営業所

① 本社 青森県青森市篠田一丁目6番2号

② 開業日 平成14年12月1日（目時駅～八戸駅間）  
平成22年12月4日（八戸駅～青森駅間）

③ 駅 目時駅【三戸町】  
三戸駅、諏訪ノ平駅、剣吉駅、苫米地駅【南部町】  
北高岩駅、八戸駅、陸奥市川駅【八戸市】  
下田駅、向山駅【おいらせ町】  
三沢駅【三沢市】  
小川原駅、上北町駅、乙供駅、千曳駅【東北町】  
野辺地駅【野辺地町】  
狩場沢駅、清水川駅、小湊駅、西平内駅【平内町】  
浅虫温泉駅、野内駅、矢田前駅、小柳駅、東青森駅、筒井駅、青森駅【青森市】（有人駅11駅、無人駅16駅）

④ 管理所 運輸管理所【青森市】、運輸管理所八戸派出【八戸市】  
設備管理所【青森市】、設備管理所八戸派出【八戸市】

⑤ その他 青い森たびショップ三沢【三沢市（三沢駅構内）】  
青い森たびショップのへじ【野辺地町（野辺地駅構内）】

注：本事業報告書中記載の金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 第 1 9 期 計 算 書 類

自 平成 3 1 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 3 1 日

	(ページ)
1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	2
3. 株主資本等変動計算書	3
4. 個別注記表	4

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	( 4,129,006 )	流動負債	( 1,828,728 )
現金及び預金	3,669,911	リース債務	78,457
未収運賃	63,700	未払金	1,560,468
未収金	347,872	未払法人税等	16,712
商品	4,289	未払消費税等	49,100
貯蔵品	35,728	預り連絡運賃	15,297
前払費用	1,929	預り金	2,811
未収還付法人税等	5,493	前受運賃	54,737
その他流動資産	80	賞与引当金	51,143
固定資産	( 1,187,792 )	固定負債	( 749,890 )
鉄道事業固定資産	957,192	リース債務	364,185
付帯事業固定資産	178,916	退職給付引当金	248,893
投資その他の資産	51,683	役員退職慰労引当金	10,800
繰延税金資産	49,248	特別修繕引当金	126,012
出資金	100		
保証金	2,326	負債合計	2,578,619
長期前払費用	9	(純資産の部)	
		株主資本	( 2,738,179 )
		資本金	2,900,000
		利益剰余金	△ 161,820
		繰越利益剰余金	△ 161,820
		純資産合計	2,738,179
資産合計	5,316,799	負債純資産合計	5,316,799

損益計算書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

(単位:千円)

科 目		
鉄道事業		
営業収益	2,217,926	
営業費	2,183,792	
営業利益		34,133
付帯事業		
営業収益	3,329,423	
営業費	3,321,950	
営業利益		7,472
全事業営業利益		41,606
営業外収益		
受取利息	71	
雑収入	2,279	2,350
営業外費用		
支払利息	13,762	
商品廃棄損	92	
雑損失	175	14,030
經常利益		29,927
税引前当期純利益		29,927
法人税、住民税及び事業税	28,698	
法人税等調整額	△ 2,438	26,260
当期純利益		3,667

株主資本等変動計算書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金	利益剰余金 合計	株主資本 合計	
		繰越利益 剰余金			
当期首残高	2,900,000	△ 165,487	△ 165,487	2,734,512	2,734,512
当期変動額					
当期純利益		3,667	3,667	3,667	3,667
当期変動額合計		3,667	3,667	3,667	3,667
当期末残高	2,900,000	△ 161,820	△ 161,820	2,738,179	2,738,179

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に関する注記

#### (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…最終仕入原価法による原価法

(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げ方法により算定)

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び車両 (リース資産を除く)

定額法によっております。

建物及び車両以外 (リース資産を除く)

定率法によっております。

リース資産

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス

・リース取引については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする

定額法によっております。

無形固定資産

ソフトウェア…定額法によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金……従業員への賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

退職給付引当金……従業員への退職給付に備えるため、自己都合による期末退職給与支給額の100%を計上しております。

役員退職慰労引当金……役員への退職慰労金の支出に備えるため、役員退職金規程に基づく期末要支給見込額の100%を計上しております。

特別修繕引当金……鉄道車両の装置保全、車体保全等に要する定期修繕費用の支出に備えるため、発生費用見込額を期間配分し、当期対応額を計上しております。

#### (4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記	
(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,935,911千円
(2) 鉄道事業固定資産	
有形固定資産	947,600千円
建物	225千円
機械装置	3,059千円
車両	640,894千円
工具器具備品	88,465千円
リース資産	214,955千円
無形固定資産	9,592千円
計	<u>957,192千円</u>
(3) 付帯事業固定資産	
有形固定資産	178,916千円
建物	3,682千円
工具器具備品	174千円
リース資産	175,060千円
計	<u>1,136,109千円</u>

3. 株主資本等変動計算書に関する注記	
発行済株式の数 普通株式	57,000株
優先株式	<u>1,000株</u>
計	<u>58,000株</u>

4. 税効果会計に関する注記  
繰延税金資産の発生の原因は以下の通りです。

(単位：千円)

	当期首残高	当期末残高
固定資産	46,810	49,248
(1) 減価償却超過額	440	417
(2) 一括償却資産	909	834
(3) 賞与引当金	14,845	15,578
(4) 未払事業税	5,502	3,828
(5) 退職給付引当金	1,288	3,219
(6) 特別修繕引当金	23,826	25,370
合計	46,810	49,248

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資産運用については主に短期的な預金によっております。資金調達の手当はありませぬ。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和2年3月31日における金融商品の時価及び差異については次の通りです。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金預金	3,669,911	3,669,911	—
(2) 未収運賃	63,700	63,700	—
(3) 未収入金	347,872	347,872	—
資産計	4,081,484	4,081,484	—
(4) 未払金	1,560,468	1,560,468	—
(5) 前受運賃	54,737	54,737	—
(6) リース債務 (短期及び長期)	442,642	442,598	▲44
負債計	2,057,848	2,057,804	▲44

(1) 現金預金、(2) 未収運賃、(3) 未収入金

これらは、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 未払金、(5) 前受運賃

これらは、短期間で決済されるため、時価が帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) リース債務 (短期及び長期)

元利金の合計額を資本還元率によって割り引いて算定する方法によっております。

6. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：千円)

属性	名称	議決権 の被所有割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	期末残高	
						科目	金額 (注3)
主要株主	青森県 (注1)	直接 68.8%	当社路線線路、本社屋、駅及び設備管理所並びに各所設備の所有、保守管理	当社路線線路、本社屋、駅及び設備管理所並びに各所設備の使用	411,406	未払金	450,531
				指定管理者制度に基づく青森県が所有する当社路線線路、の保守管理		3,269,915	未払金(注2)

(注1) 取締役橋本恭男氏は青森県企画政策部長、東直樹氏は青森県企画政策部次長であります。

(注2) 指定管理者契約に基づき、当事業年度の実績により受領済みの委託料の一部を返還することとしております。

(注3) 取引金額には消費税を含めておりませぬ。期末残高には消費税を含めております。

7. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	47,209円99銭
1株当たり当期純利益	63円23銭

8. その他の注記

計算書類は千円未満切り捨てで表示してあります。